

令和6年12月20日

新規

SDGs を推進し、サステナブルな観光地づくりを！ 株式会社 JTB との「SDGs パートナーシップ協定」締結

世界から選ばれ、観光客満足度、住民満足度の高い観光地を目指し、株式会社 JTB 京都中央支店との連携協定を締結し、下記日程により協定書調印式を行います。

未来へ繋がる『サステナブル（持続可能）な観光地』を目指す取組を進めていきます。

記

- 日時： 令和6年12月23日（月） 13：30～14：00 ※定例記者会見前
- 出席者： （株式会社 JTB 京都中央支店） 中川支店長
（宮津市） 城崎市長
- 内容： 連携協定書の調印

【背景】

『サステナブル（持続可能）な観光』の実現に向け、2007年、国連世界観光機関（UN Tourism）や国連環境計画（UNEP）等の国連機関や国際 NGO により、グローバル・サステナブル・ツーリズム協議会（Global Sustainable Tourism Council：略称 GSTC）が設立されました。GSTC では国際観光の基準項目や指標を開発し、その管理を行っています。

この GSTC が認定する認証団体 グリーン・ディスティネーションズ（Green Destinations：略称 GD）が選出する「サステナブル・ツーリズムに取り組む観光地 TOP100 選」に、2年連続選出された宮津市と、GSTC と協力覚書（MOU）を交わしサステナブル・ツーリズムの実践を進める（株）JTB とが、タッグを組むことで、双方の「サステナブルな観光」を加速させていくものです。

【今後の展開】

受入体制の充実に向けた観光事業者向け研修の実施や、ガストロノミーツーリズム（地域の食文化に触れることを目的とした観光）の推進、天橋立など豊かな自然遺産の保全活動など、具体事業をさらに進めていくことで、訪れる人も住む人も豊かになれる観光地づくりを目指します。

【担当者のコメント】

『サステナブルな観光』と言うと、地域環境保全の面だけが注目されがちですが、「訪問客、産業、環境、受入地域の需要に適合しつつ、現在と未来の環境、社会文化、経済への影響に十分配慮した観光（国連世界観光機関：UN Tourism 定義）」であり、観光地が目指すべき姿です。この理想形に少しでも近づくため、一步一步取組を進めたいと考えています。（誘客担当課長 井ノ元）

お問い合わせ先

産業経済部 / 商工観光課 / 観光係

TEL：0772-45-1625